

【1年】ライフサイエンスⅠ・総合的な探究の時間 特別講義「地域を知る」を実施しました！

9月10日(木)、1年生の「ライフサイエンスⅠ」・「総合的な探究の時間」において、特別講義「地域を知る」を開催しました。

この取り組みは、生徒たちがグループで地元・福崎町や周辺地域の課題解決に向けた探究活動を始めるにあたり、各分野の第一線で活躍される方々から「現場のリアルな現状と課題」を学ぶために実施したものです。生徒が自身の関心に合わせて選択できるよう、2時間にわたって講義を行いました。

行政と民間企業がタッグ！多様な講義ラインナップ

今年は福崎町役場の皆さまに加え、福崎町商工会の力強いご協力のもと、地元の民間企業や関係機関の方々にも講師としてご参加いただきました。

防災、観光、福祉、教育などの「公共領域」から、ものづくり、農業、理容、石材、SNS・動画制作といった「民間・地域産業」まで、全14分野におよぶ講座が開講されました。生徒たちは「公共団体」と「民間企業」の講義をそれぞれ1回ずつ受講し、多角的な視点から地域を見つめ直す貴重な機会となりました。

【生徒の声】

- **防災について** 知っているつもりだったが、いざ講座を受けてみると、知らないことがばかりで新しく勉強になった。また、避難したときに使用する段ボールのベッドや簡易トイレなども見るのができて良かった。
- **観光・町おこしについて** 福崎では観光客をどんどん増やすために柳田國男の妖怪の話から新キャラクターを導入したりして町おこしがすごいなと思いました。福崎町に来てもらうには多くの努力がいるんだなと実感しました。
- **地域の疑問と発見** 僕は15年間この福崎町に住んできました。自分が昔から疑問に思っていることが、解決したことがたくさんありました。なぜ田原方面だけ栄えているのか駅前には商業施設が少ないのなど、いつも思っていた疑問には事情や相手の都合もあるからなど難しい理由があるからだと思いました。
- **課題解決と今後の行動** 福崎町に住んでいる人の視点で福崎町の課題について知れてとても興味深かったです。福崎町を盛り上げていくために自ら行動しているのがとても素敵だと思ったし、僕も何かできることがないか考えるきっかけになりました。
- **ビジネスと地域活性化** ビジネスはニーズを理解してそれを上手く活用することが大切だとわかりました。また、今の福崎町の妖怪などの観光と深く携わっている企業が多くないことを知り、もし私が福崎町内の企業に就いていたらそういったことにも挑戦してみたいな、と思いました。

今後の予定

今後は、今回の講義で抱いた疑問や提示された課題をベースに、グループごとに探究テーマを設定していきます。自分たちの手で調査・分析を行い、解決策を模索しながら本格的な探究活動を進め、3月の最終発表会に向けて取り組んでまいります。

講師を務めてくださった福崎町役場、福崎町商工会、そして各企業の皆さま、お忙しい中温かいご指導をいただき本当にありがとうございます！

